

無線状況付与技術の研究

防衛省・自衛隊の実訓練環境において、無線システムを標的としたサイバー攻撃への対処について状況付与を行い、効果検証を行う演習環境構築に関する技術を確立する。

現状・課題

野外の戦域においては、主に無線系でシステムが接続されているが、柔軟なサイバー演習を実施するためには、無線システムに対して必要な状況を付与することが可能な技術が必要である。



<研究開発実施線表>

年度	令和4年	5	6	7
実施内容		本事業(研究試作)		所内試験

総合評価

サイバー攻撃等の状況を付与し、演習を実施することが可能な、無線状況付与技術を実現するための研究は、研究開発ビジョンに挙げている取組にも合致しており、その必要性は理解できる。
また、先行研究の成果を十分活用するとともに、国内機関と協力して、優れた民生技術を積極的に取り込むことにより、更なる研究の効率化が期待できることから、本事業に着手することは妥当であると判断する。